

地域を挙げた非常時(火災時) 対策と 歴史的文化行事(神事) への取組 (山口市名田島東開作自治会 会長 田中 英照)



スライド 1

y1

yamaguchi, 2024/08/07

○東開作集落の現状について

- ・人口 117名（男性52名、女性65名）
- ・世帯数 46（全て持ち家） ※他に空き家4軒
- ・別に、集落内にアパート3棟（16世帯）
- ・高齢化率 41.8%（男性：32.6% 女性：49.2%）
- ・50歳以上の比率は62.3%（男性：63.5%、女性：61.5%）
- ・40歳以上の比率は69.7%（男性：75.0%、女性：78.5%）

○地域を挙げた非常時(火災時)対策について

- ・ 堰板設置(撤去)作業について
防火用水確保のため、集落東西を流れる2本の河川に堰板を11月上旬に設置、翌年4月上旬に撤去
- ・ 防火意識向上への取組について
活動に併せて、集落全住民に対して、活動参加の呼びかけ、情報提供を回覧等で実施

○ 歴史的文化行事(神事)への取組について

(集落会館における神事の写真)



○ 歴史的文化的行事(神事)への取組について

- (神事後の直会の写真)



○ 歴史的文化的行事(神事)への取組について

- ・ 春当屋（春分の日）、秋当屋(秋分の日)
- ・ 本当 1 軒と寄当 2 軒で、神事と直会を受け持つ

※ 近年、少子化、高齢化に伴う人口減もあり、当屋の受け持ちにあたる本当の精神的、経済的な負担から、見直しを求める意見が出たため、自治会主導で、班長を中心に、集落住民の意見を集約し、令和6年7月定例集会で原案を提示し、今後の方向性について集落としての統一見解を決定した。